

生態系に配慮した増殖指針作成事業

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 水産総合研究センター 公開日: 2024-07-17 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010113

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



生態系に配慮した増殖指針作成事業

中央水産研究所 内水面研究部 生態系保全研究室

研究の背景・目的

我が国の川や湖には、約860の漁業協同組合があります。これら内水面の漁協は漁業を行う権利を認められているいっぽうで、増殖の義務を負っています。多くの漁協が義務増殖として、種苗放流（おもに養殖魚の放流）を行っています。

しかし、遺伝的多様性の保全や遊漁者の天然魚指向の高まり、魚病（例えばコイ・ヘルペスウイルス）の蔓延などのため、自然繁殖促進型の増殖方法が求められています。

そこで、おもな淡水魚について人工産卵床の造成技術と利用指針を開発・策定し、普及させることを目的に研究に取り組みました。

なお、この事業は平成19年度から21年度に水産庁から委託された研究事業です。

研究成果

5種類のDVDと7種類のパンフレットを作成し、都道府県庁の水産課、水産試験場、内水面漁業協同組合連合会などに配布しました。パンフレットについては、全国の漁業協同組合にも配布しました。

【DVD】

溪流魚の人工産卵場のづくり方
アユの人工産卵床のづくり方
コイ・フナの人産卵床のづくり方
ウグイの人工産卵床のづくり方
オイカワの人工産卵床のづくり方

【パンフレット】

溪流魚の人工産卵場のづくり方
アユの人工産卵床のづくり方
コイ・フナの人産卵床のづくり方
ウグイの人工産卵床のづくり方
オイカワの人工産卵床のづくり方
カジカの人工産卵床のづくり方
溪流魚、アユ、コイ・フナ、ウグイ、オイカワの人工産卵床の増殖指針

波及成果

全国各地で人工産卵床による増殖活動が始まり、天然の魚が増え始めています。

